

## 島国の祈りのかたち～フラを続けて20年～

百瀬 京子さん (坂本)



百瀬さん (前列右側)

**皆**

さんこんにちは。私がフラダンスを始めたきっかけは、村の公民館活動の講習会です。年相応の運動を求めていたところの募集案内でしたので、初回から全ての受講期間を終えることができました。講習会終了後も活動が継続され、村内初のフラダンスチーム「スイートハート」が誕生し、かれこれ約20年の活動歴となります。村内を中心に活動しており、主な練習成果の発表の場は、和紙の里文化フェスティバル、二本木峠山開き同日開催の「山ツツジ歓笑祭」です。華やかな衣装に身を包み、ステージメイクをする気持ちも若返ります。そして、観客の皆さんに喜んでいただけたとき、とても嬉しく思います。フラダンスの魅力は、細やかでしなやかな指先の表現にあると思います。日本と同じ島国の舞踊ということもあってか、自然への賛美や祈り、悲喜こもごもの表現は、まるで手話のような豊かさです。また、優雅な異国情緒たっぷりの音楽や日本のヒット曲にのせて踊るのも魅力にあげられると思います。

### 小さな国際親善と 和装ボランティア活動



私は茶道も趣味にしており、嵐山町にある国立女性教育会館のお茶席でボランティア活動もしておりました。同会館では、和文体験交流事業に参加された海外の方を対象としたお茶席もあり、大柄な方への着付けは和装着装師・師範資格保有者としての腕の見せ所でもありました。右の写真は、私がミス・カナダに大振袖を着付けているところですが、着付けを終えて嬉しそうにポーズを取りながら写真撮影を撮り合う姿を見ると、着装師冥利に尽きる思いがします。

このほかにも、和装文化の普及啓発、そして夏の思い出づくりの一助になればと、坂本盆踊りでは「浴衣着付けの助っ人」役を任せております。浴衣や甚平などから和装に親しんでみてはいかがでしょうか？